

TCS2025 Program

第1部 映像作品上映 および講演会 9号館大教室

11:00
~14:30

- ・学生による映像作品上映+パネル・ディスカッション
上映作品『トランスナショナル・シネマ・シンポジウム
活動紹介』、『詩人ユン・ドンジュとともに2021』、
『現代に生きる尹東柱』
- ・講演『立教と韓国演劇』：パク・ドンウ氏
- ・対談『ユン・ドンジュと韓国文学』：コン・ジョン氏、
イ・ハンジン（本学異文化コミュニケーション学部教
授）（同時通訳を予定）

第2部 上映 9号館大教室

16:00
~17:50

『空と風と星の詩人尹東柱（ユン・ドンジュ）の生涯』

第3部 詩劇朗読公演

18:30
~20:00

タッカーホール2階 講堂

立教大学、延世大学校学生共同での演劇上演
詩劇『ごめんなさい、ドンジュ』イ・ユン Chol 氏演出
韓国で活躍する有名俳優・歌手による詩の朗読・ミニコ
ンサート

TCS &

尹東柱



2025年トランスナショナル・シネマ・シンポジウムは、日韓国交正常化60年、詩人ユン・ドンジュの逝去80周年となる年に建てられる本学ユン・ドンジュ記念碑の竣工日に、異文化コミュニケーション学部を始め本学の学生が、ユン・ドンジュの詩と人生について学ぶことを目指して企画する。また、延世大学校学生を招き、ユン・ドンジュについての演劇作品を本学の学生と共に制作、上演することによって、未来を目指した共学の機会とする。

このシンポジウムを通して、記念碑設置の目的のひとつ「本学から東アジア地域さらには国際社会の平和構築と維持・発展を希求する姿勢を内外に表明する」姿勢を参加学生が理解するとともに、広く発信する機会としたい。



記憶をスクリーンに繋ぐ

기억을 스크린에 담다

film&artsLab since2013.



足達洋樹

2022年、本学現代心理学部映像身体学科卒業。演出家として映画『尹東柱と共に2021』の制作全般に携わる。現在は神戸大学国際文化研究科の博士前期課程在学中。文化人類学を専攻し、フィリピンの山岳先住民社会で1年間フィールドワークを行う。

山田都子

2019年、本学異文化コミュニケーション学部卒業後、総合広告制作会社入社。プロダクションマネージャーおよびプロデューサーとして、化粧品、時計、飲料、食品など多様な業界の広告制作進行を担当。2022年株式会社資生堂クリエイティブ入社、アカウントエグゼクティブ兼プロデューサーとして、サンケイブランド「ANESSA」の広告制作を担当。2025年よりメイクアップブランド「マキアージュ」の広告制作にも従事。

登壇者 Guests' profile

登壇者

Guests' profile



朴東佑

パク・ドンウ

韓国を代表する舞台美術デザイナー。延世大学校経営学科卒業、弘益大学校産業美術大学院舞台美術専攻修了。2018平昌オリンピック開閉会式の芸術監督。ミュージカル『神と共に』（2015年）、『英雄』（2009年）、『明成皇后』（1997年）をはじめ、演劇『城』（2018年）、『社会の柱』（2014年）、『山火』（2011年）、オペラ『ルサルカ』（2016年）、『オルフェオとエウリディーチェ』（2010年）など多彩な舞台作品に美術デザイナーとして参加。イェグリン・アワードイノベーション賞（2016年）、イェグリン・アワードステージ美術賞（2012年）、ザ・ミュージカル・アワーズ舞台美術賞（2010年）、韓国ミュージカル大賞舞台美術賞（1995年、1996年、1997年、2010年）、ソウル演劇祭舞台美術賞（1989年、1991年、1995年、2005年、2010年）、イヘラン演劇賞（2006年）、今日の若い芸術家賞（2000年）、東亜演劇賞舞台美術賞（1991年、2000年）、韓国演劇舞台芸術賞（1998年）など多数受賞。

登壇者

Guests' profile



孔枝泳

コン・ジヨン

韓国を代表する作家の一人。1963年、ソウルに生まれ、延世大学校英文学科を卒業。1988年、拘留所に収監中に執筆した短編「夜明け前」を文芸誌『創作と批評』に発表し、文壇デビューを果たす。1989年には、初の長編小説『これ以上、美しい彷徨はない』を発表し、本格的に作家活動を開始。1993年の『サイの角のようにひとりで行け』では、女性に対する差別や抑圧の問題を正面から取り上げ、韓国文学における新たな女性文学・フェミニズム文学の扉を開いた。1994年には『サバ』『人間に対する礼儀』が相次いでベストセラーとなり、名実ともに読者から最も愛される韓国を代表する作家の一人となった。2006年、尹東柱の詩を題材とし、日韓の言語的境界を超えた愛を描いている『愛のあとにくるもの』という辻仁成とのコラボレーション作品を発表した。



イ・ユン Chol
李侖哲

延世大学校哲学科卒業。主要演出作は「The Matchmaker」「椅子連席会議」「ミシシッピ氏の結婚」など多数。本学・延世大学校学生共同での演劇上演、詩劇『ごめんなさい、ドンジュ』構成と演出。

イ・デヨン
李大淵

韓国演劇、映画、テレビドラマ等で活躍中の俳優。延世大学校神学科卒業。東亜演劇賞演技賞等受賞多数。主要出演作は『春の日』、『私に会いに来て』、『大人はかく戦えり』。映画は『I Can Speak』、『思悼』、『復讐者に憐れみを』など。本学・延世大学校学生共同での演劇上演、詩劇『ごめんなさい、ドンジュ』ナレーター。



延世大学劇芸術研究会



1920年代の延禧専門学校時代の演劇活動を源流とし、1953年に正式に創設されて以来、学内外で精力的に活動が続けてきた。古典から現代劇まで幅広いレパートリーを上演し、若い世代の声を舞台で表現している。今回の公演では、立教大学学生たちとの協働を通して観客との新たな交流を目指す。

登壇者 Guests' profile

!Surprise Guests!



!!!（俳優）



!!!（歌手）



!!!（俳優）

登壇者
Guests' profile

Campus Map



問い合わせ: hyangjinleelab@gmail.com

主催
立教大学
異文化コミュニケーション学部

記憶をスクリーンに繋ぐ
기억을 스크린에 담다
film&artsLab since2013.

後援

パク・ウンガン氏

(延世大学尹東柱記念事業会後援会長、シモンヌ代表取締役)

延世大学尹東柱記念館、大韓国外交部、延世大学校総同門会、延世劇芸術研究会同門会、
延世大学校総同門会東京支部、駐日韓国大使館、在日本大韓民国民団中央本部、
STUDIO OBBERAS、CJジャパン、株式会社韓国人参公社ジャパン、株式会社韓流村

